

きらぼし海外レポート

2026年2月号

きらぼし銀行 海外戦略部

CONTENTS

□ 中国現地レポート

綺羅商務諮詢（上海）有限公司 小林

<テーマ> 「スシロー人気に見る上海外食市場と日本ブランドの可能性」

□ タイ現地レポート

バンコク駐在員事務所 伊原

<テーマ> 「タイの総選挙と、ちょっと不思議な選挙文化」

□ 特集～海外投資環境編～

インタビュアー：きらぼしコンサルティング 兼 きらぼし銀行 蓑田、木村

<テーマ> 「インド市場の魅力と可能性 後編」

□ 告知協力

三井物産・企業リスクプロテクション協議会主催オンラインセミナー
「義務化されるカスハラ・就活セクハラ対策と労基法改正の最新動向」

□ 綺羅商務諮詢（上海）有限公司からのご案内

中国ビジネス無料WEB相談

□ きらぼし銀行の海外ビジネスサポートネットワーク

中国現地レポート

「スシロー人気に見る上海外食市場と日本ブランドの可能性」

中国では景気の減速感や消費マインドの低下が指摘される中でも、上海の外食市場では「安心・品質・体験」を重視する消費行動が根強く、日本ブランド飲食店が再び注目を集めています。上海では回転ずしチェーン「スシロー」が2025年12月に満を持して上海に出店、連日行列が出来るほどの盛況を見せています。今月は、スシローを切り口に、上海の消費トレンドと日本ブランドの可能性について触れたいと思います。

〇スシローが示す日本ブランドの集客力

スシローは2021年広州での出店を皮切りに、華南から内陸、華北地域へと出店を広げ、2024年末に華東地域では初となる蘇州での出店を経て、2025年12月に上海出店を果たしました。価格帯は現地ローカル飲食店と比較すると決して安価ではありませんが、それにもかかわらず若年層からファミリー層まで幅広い客層を取り込んでいます。背景には、①食材の安全性、②味やサービスの安定感、③清潔感のある店舗設計、④デジタル注文などによる利便性といった、日本ブランドが長年培ってきた強みがあります。



<上海で開店以来連日賑わいを見せるスシロー>

特に上海では、食品安全への意識が依然として高く、「日本＝品質保証」というイメージが強く残っており、スシローはその象徴的存在といえます。

寿司に限らず、ラーメン、焼肉、居酒屋といった日本系飲食は「安心して選べる外食先」として認識されており、日本ブランドは“高品質で失敗しにくい体験”を提供する存在として定着しています。

〇その他、日系飲食ブランドの取組み

また、寿司以外の分野でも、日本発ハンバーグ専門店「挽き肉と米」が2026年1月に上海へ進出し、SNSを中心に話題となっています。メニューを極限まで絞り、目の前で調理によるライブ感と日本式オペレーションを組み合わせた同店は、価格帯がローカル店より高めであるにもかかわらず安定した集客を維持しており、「分かりやすい価値」と「安心できる体験」を重視する上海消費者の傾向を象徴する事例といえます。

〇終わりに

上海市場では、日本ブランドに対する信頼感は依然として高く、飲食分野のみならず、生活関連サービ

ス、ヘルスケア、日用品など幅広い領域で「高品質×適正価格」を軸としたビジネス機会が存在しています。一方で成功の鍵は、日本式モデルの単純な持ち込みではなく、中国 SNS の活用、現地消費水準に合わせた価格設計、デジタル体験の組み込みといった現地最適化にあると考えます。

実際に上海を訪れると、街の活気や消費者の感度の高さ、日本ブランドへの親近感を肌で感じることができます。中国市場は依然として大きな可能性を秘めており、現地を実際に見ること自体が新たなビジネスのヒントにつながると考えられます。

以上

綺羅商務諮詢（上海）有限公司 小林

タイ現地レポート

「タイの総選挙と、ちょっと不思議な選挙文化」

2026年2月8日（日）、偶然にも日本の衆院選と同日、ここタイでも総選挙が行われ国会下院（人民代表院）の議員が国民の投票によって選ばれます。タイ下院の選挙は昨年に首相が議会を解散したことに伴うもので、2023年以来3年ぶりの実施となります。

○タイの政治/選挙制度

タイは立憲君主制を採る国家で、政治は議会制民主主義に基づいて運営されています。国会は上院（元老院）と下院（人民代表院）からなる両院制で、下院は全国民による選挙で選出されます。下院の定数は500議席で、任期は原則4年とされ、選挙制度は日本と同様に、小選挙区制と比例代表制を組み合わせた混合制で、有権者は候補者個人と政党の双方に投票します。選挙の管理・運営はタイ選挙管理委員会が担い、投票手続きや選挙運動についても比較的厳格なルールが設けられています。

○主要政党

今回のタイの選挙では、改選前の最大野党で革新派の「国民党」、アヌティン現首相が所属する保守派与党の「タイの誇り党」、2001年～2006年まで首相を務めたタクシン元首相が大きな影響力を持つ「タイ貢献党」の3大政党を中心に選挙戦が繰り広げられました。本レポートの作成時点では、1月の世論調査で支持率首位を獲得した国民党が伸び悩み、カンボジアとの国境紛争への対処などを実績に挙げた「タイの誇り党」の優位が伝えられています。

○タイらしい選挙前の風景

タイの選挙について、少しユニークなのがお酒の販売規制です。タイでは選挙前日や期日前投票日の夕方から投票終了まで（今回であれば期日前投票日前日の1月31日から2月1日と、投票日前日の2月7日から8日にかけて）、アルコール飲料の販売が法律で禁止されます。

選挙期間中の秩序維持や冷静な判断を促す目的とされ、コンビニやスーパーなどの小売店に加えて、飲食店やホテルでも販売が禁止されます。限られた期間ではありますが、タイ国民だけでなく、観光客を含む外国人もアルコール飲料が購入できません。タイでは近年の選挙で投票率が70%台半ばと比較的高い水準で推移していますが、こうした取り組みがその一助になっているのかもしれませんが、



＜選挙ポスターと投票所で開票の様子を見守る人々＞

（筆者撮影）

以上

バンコク駐在員事務所 伊原

海外ビジネスレポート

「海外投資環境編～インド市場の魅力と可能性 後編」

前号でお届けしたインド市場の魅力に続き、今号では、実際に進出する際の注意点を解説します。契約・人材・コストの面で押さえない重要ポイントとは？HLS インディア・ジャパンデスクの江嶋直人氏にお話を伺いました。

○ インドの進出で押さえるべき三つの注意点

インド進出の際に注意したいポイントが三つあります。

一つ目は、契約書のチェックです。インドは契約社会です。日本でA4用紙3～4枚ですむような契約書が、十数枚におよぶことはざらにあります。裁判になると長期化する傾向にあり、時間やコストを消費します。契約後にトラブルにならないよう、弁護士にリーガルチェックをしてもらったうえで、契約に臨むことが大切です。

二つ目が、現地で最初に採用する人材です。日本企業から派遣された駐在員と一緒に、インド市場を拡大していく重要なパートナーですから、雇用前に信用調査しておくことをお勧めします。

特に、現地という言葉がわからない、ネットワークもない日本企業の場合、現地で採用した人材が悪意をもっていたとしても、その行為を防ぐことは困難です。リスクがあることを想定して準備をしておかないと、あとあと大きな損害を被る可能性があります。

そして三つ目が、人件費です。インドの一人当たりのGDPは日本の10分の1以下ですが、それがそのまま給与水準に反映されるわけではありません。

そもそもインドには、英語が話せる人材が人口の2割ほどしかいません。加えて、スキルや経験があって日本語に対応できる人材となると、日本人以上の給与になるケースもあります。

平均的な給与水準だけを見て判断すると、実際の採用コストとのギャップに直面することになります。

○ 中小企業の迅速な意思決定が強みになる！

大企業に比べると、インド進出を検討している中小企業は、まだそれほど多くはない印象です。しかし、長期的な視点で人的・資金的資源を投入し続け、黒字化を目指し忍耐強くやっていけるのならば、インドは中小企業にとっても可能性の大きい市場です。

加えて、インドの企業文化はトップダウン型で意思決定が早く、この点は日本の中小企業と相性がよいでしょう。

例えば、インドで工業用地を購入する場合。日本の大企業の多くは、課長、部長、取締役が段階的に現地視察に訪れて検討するでしょう。しかし、取締役が到着したときにはその土地はもう売れてしまっていた……というようなことがあります。

その点、中小企業はファミリー企業も多く、トップ自らが現地を訪問して即断即決することで、チャンスをつかみやすいといえます。

○ 会計から法務・労務、信用調査まで幅広くインド進出を支援

当社は、世界7カ国18拠点でサービスを提供する国際会計・ビジネスアドバイザー事務所です。会計・税務・監査に加え、インドでは法務・労務支援にも対応しています。さらに2024年から、市場調査・ビジネスマッチング・信用調査を行う専門部門を立ち上げました。

インドビジネスでお困りのことがあれば、お気軽にご相談ください。

HLS インディア 企業ホームページ

<https://hls-global.in/ja/>

※HLS グローバルのホームページに遷移します

インタビュアー：きらぼしコンサルティング 兼 きらぼし銀行 蓑田、木村

<告知協力>

三井物産・企業リスクプロテクション協議会主催
3月10日開催オンラインセミナー
「義務化されるカスハラ・就活セクハラ対策と労基法改正の最新動向」

2026年10月1日施行予定の労働施策総合推進法改正、また現在労基法改正の行方についても検討が進められています。企業へ義務化されるハラスメントへの対策方法など、法改正の具体的な内容や企業への影響をわかりやすくご説明いたします！

【開催概要】

- ・日 時：2026年3月10日（火）15:30～17:00
- ・開催形式：オンライン（Zoom）
- ・定 員：200名
- ・参加費：無料
- ・主 催：三井物産・企業リスクプロテクション協議会

【プログラム】

●<第一部>

カスハラ・就職活動セクハラに関する事業主の措置義務について
2027年以降施行予定労基法改正の方向性について
登壇者：小鍛冶 広道 氏（第一芙蓉法律事務所）

●<第二部>

三井物産・企業リスクプロテクション協議会のご案内
登壇者：三浦 敬介氏（三井物産・企業リスクプロテクション協議会 事務局長）

▼詳細&お申込みはこちら▼

<https://www.kyougikai.info/seminar/310/>

（三井物産・企業リスクプロテクション協議会の案内ページに遷移します）

※申込締切：3月6日（金）17:00

【セミナーに関するお問い合わせ先】

三井物産・企業リスクプロテクション協議会

連絡先：kyougikaiTKZHI@mitsui.com

< 中国ビジネス無料 WEB 相談 >

綺羅商務諮詢（上海）有限公司では、中国で事業展開をご検討されているお客さま既に進出されているお客さまを対象に、無料でWEB相談を承っております。ぜひお気軽にご相談くださいませ。

■ 相談事例

- ・ 中国に**現地法人設立を検討**している
- ・ 中国企業からビジネスの誘いを受けているが、**中国企業の実態が分からない**
- ・ 中国子会社の資金繰りが思わしくなく、**資金調達を検討**している
- ・ 中国子会社に日本人が駐在しておらず、中国子会社から来る報告内容が良く分からない
- ・ 中国への**販路拡大を検討**している（輸出含む）
- ・ 中国での**製造委託先を探している**
- ・ 中国からの**撤退を検討**している

■ お申込み方法

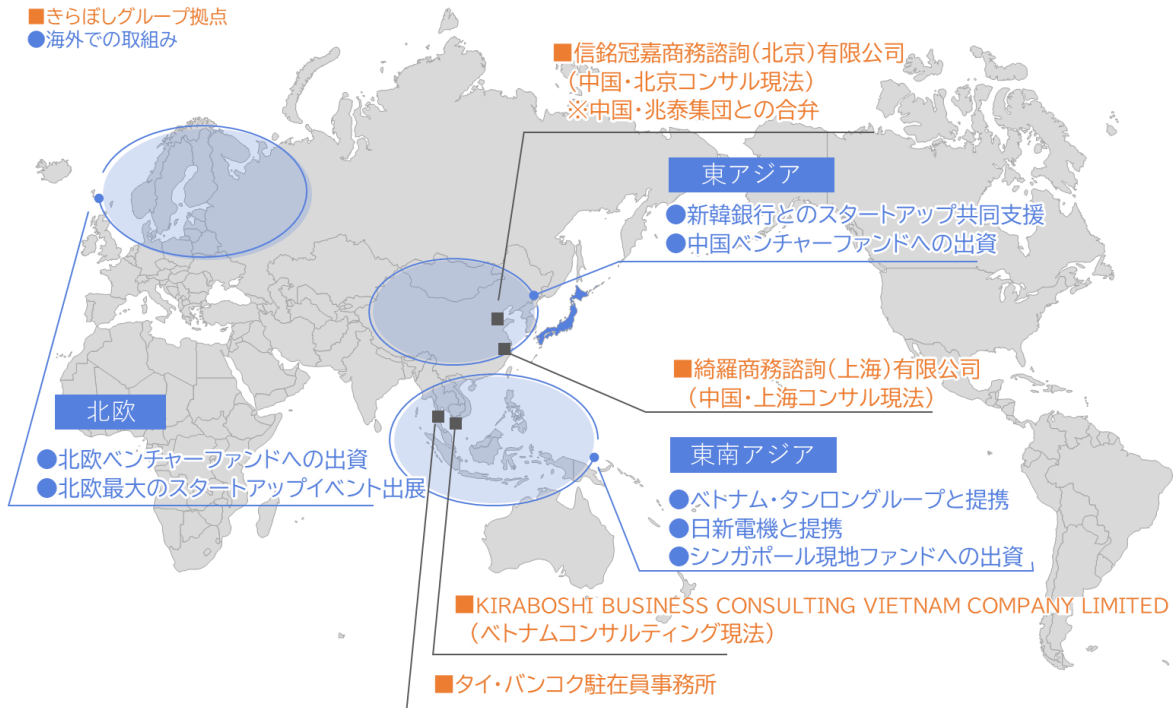
綺羅商務諮詢（上海）有限公司（きらぼし銀行上海現地法人）ホームページ（[中国ビジネスに関する無料 WEB 相談 | きらぼし銀行](#)）より申込書をダウンロード頂き、必要事項をご記入の上、綺羅商務諮詢（上海）有限公司代表アドレス（kiraboshi_shanghai@kiraboshi-bc.com.cn）までお申込み下さい。

■ お問い合わせ

綺羅商務諮詢（上海）有限公司（きらぼし銀行上海現地法人）
TEL: +86-21-6467-0011(日本語可)
電話受付時間：平日 9:30～18:00(日本時間)

きらぼし銀行 海外ビジネスサポートネットワーク

- きらぼしグループ拠点
- 海外での取組み



上海：綺羅商務諮詢（上海）有限公司 《きらぼし上海》

中華人民共和国上海市黄浦区淮海中路918号久事復興大廈24-C1室

<https://www.kiraboshibank.co.jp/hojin/boueki/soudan/kiraboshi-shanghai/>

北京：信銘冠嘉商務諮詢（北京）有限公司 《北京合併会社》

中華人民共和国北京市大興区金盛大街二号院五号楼1階101-32

ホーチミン：KIRABOSHI BUSINESS CONSULTING VIETNAM COMPANY LIMITED 《きらぼしバトナム》

The Mett Building, 15 Tran Bach Dang Street, Thu Thiem Ward, Thu Duc City, Ho Chi Minh City, VIETNAM

<https://kiraboshi-bc.com.vn/>

タイ：Kiraboshi Bank, Ltd., Bangkok Representative Office
《きらぼし銀行 バンコク駐在員事務所》

689 Bhiraj Tower at EmQuartier, Level 30, Sukhumvit Road, Khlong Tan Nuea, Watthana Bangkok 10110, Thailand

きらぼしグループの海外戦略

- ▼きらぼしグループの海外戦略について
動画視聴はこちらから

※YouTube 動画に遷移します

<https://youtu.be/bNdvbHA7IbU>



きらぼし銀行海外戦略部ホームページ

- ▼きらぼし銀行の海外サポートについては
下記ご確認ください。

[海外進出支援のご相談](#) | [貿易取引・海外進出支援](#) | [きらぼし銀行](#)

お問い合わせ

きらぼし銀行 海外戦略部

▶電話……03-6447-5828 ※受付時間：平日 9:00~17:00 ▶E-mail……i580@kiraboshibank.co.jp

本レポートのご利用にあたって

- ◆本レポートに記載の事項は情報提供のみを目的としたものであり、記載されているデータ、意見などはきらぼし銀行が信頼に足り、且つ正確であると判断した情報に基づき作成されたものではありませんが、その正確性、確実性を保証するものではありません。
- ◆当レポートに記載された内容が事前連絡無しに変更されることもあります。当レポートに記載された条件などはあくまで仮定的なものであり、かかる取引に関するリスクを全て特定・示唆するものではありません。事業展開の最終決定は貴社ご自身の判断でなされるよう、また必要な場合には顧問弁護士、顧問会計士などに御相談の上でお取扱下さいますようお願い致します。
- ◆本記事は、特に断りのない限り、執筆者個人の見解です。執筆者に付している所属企業・団体名、肩書きおよび各記事末尾の執筆者略歴は、執筆者紹介のためのものであることをご了承ください。
- ◆当レポートの一部または全部について無断でいかなる方法においても複写、複製、引用、転載、翻訳等を行うことを禁止します。